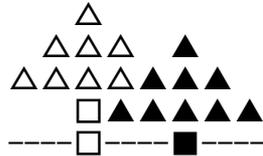


2010/9/8

林業試験場メールマガジン



『北の森の達人』

Vol. 23 第23号

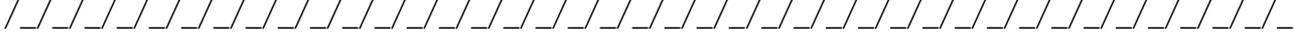
□■□読者の皆様へ□■□

いつも林業試験場メールマガジン『北の森の達人』をお読みいただき、ありがとうございます。

林業試験場メールマガジン『北の森の達人』は、北海道の森林・林業・身近なみどりに関わる情報を皆様に直接お届けするメールマガジンです。



- 刊行物ダイジェスト 光珠内季報 No. 159
平成21年 北海道林業試験場年報
- ホームページの紹介 「【改訂版】北海道カラマツ細り表」の紹介
- 森とみどりのQ & Aで解決! サクラについて
- 今日の達人のささやき 企画調整部 中田圭亮



■刊行物ダイジェスト1 光珠内季報 No. 159 (2010.8発行)

◇地方独立行政法人北海道立総合研究機構のご紹介と林業試験場が平成22年度に取り組む試験研究のあらまし

◇グイマツ雑種F1は低密度植栽でも大丈夫!

(企画調整部 山田健四)

グイマツ雑種F1を様々な密度で植栽した試験地の調査結果から、F1の低密度植栽の実用性を検討した。1,000本/ha植栽区では24年生で初回間伐適期に達し、そのときの平均直径は21cmで、材積の8割以上を直径20cm以上の個体が占めた。このため、1,000本/ha植栽区では初回間伐から利用間伐による収入が期待できる。ただし、高付加価値材を生産するためには、立て木候補木への枝打ちを検討する必要がある。

◇最近、北海道で樹木被害が確認された外国からの侵入害虫

(道東支場 原 秀穂)

国外からの侵入害虫ハリエンジュハベリマキタマバエとキンケクチフトゾウムシの北海道における樹木被害状況を報告するとともに特徴・生態・防除などについて取りまとめた。ハリエンジュハベリマキタマバエは北海道における分布が今回初めて正式に記録される。キンケクチフトゾウムシによる苗木の枯死被害が確認された。今後、被害が各地で発生する恐れがあり、注意が必要である。

◇ハーベスタ、フォワーダ、グラップルローダによる間伐作業システム

(森林資源部 渡辺一郎)

ハーベスタ、フォワーダ、グラップルローダ(ウインチ付き)の3機種の機械セットによる様々な林分状況(傾斜の緩急、路網密度の高低、機械の林分走行の可否など)に対応可能な4つの間伐作業システムを構築した。

<-刊行物詳細情報->

<http://www.fri.hro.or.jp/kanko/kiho/kihoh22.htm>

■刊行物ダイジェスト2 平成21年度 北海道林業試験場年報 (2010.8発行)

Web版平成21年度北海道林業試験場年報を発行しました。

◇平成21年度試験研究課題

◇平成21年度試験研究の概要

- ◆企画指導部 (1課題) ◆林業経営部 (10課題) ◆森林環境部 (5課題)
- ◆森林保護部 (4課題) ◆緑化樹センター (1課題) ◆支場 (4課題)
- ◆外部との共同研究 (22課題)

◇研究発表業績

◇技術指導並びに普及

◇物量の分析及び鑑定

◇特許・品種登録

◇林業専門技術員の活動実績

◇総務

<-刊行物詳細情報->

<http://www.fri.hro.or.jp/kanko/nempo/nempo.htm>

■ホームページの紹介 . . . 「【改訂版】北海道カラマツ細り表」の紹介

「細り表」は、収穫前に採材時の丸太の末口径を予測するものです。カラマツ資源を無駄なく有効に活用するためには、立木の形状を把握し、形状に合わせて適切に用途や採材を決定することにより、歩止まりを高める必要があります。

これまでの「北海道カラマツ細り表」（平成6年3月発行）は、胸高直径で最大36cmの立木までしか対応できませんでした。そこで、この度「細り表」の改訂を行うことにより、対象となる立木を最大胸高直径56cmまで拡張しました。

<-【改訂版】北海道カラマツ細り表のページ->

<http://www.fri.hro.or.jp/karahosorihyo/karahosorihyo.html>

■森とみどりのQ&Aで解決！ . . . 木材の伐木・造材工程について知りたい。

【Q】木材の伐木・造材工程について知りたい。

【A】一般に、山で木を切って林道まで集材する作業を伐木造材といいます。木を切るときにはチェーンソーを使い、集材にはトラクタ（写真）を用います。集材作業は、切り倒した木の枝を払い丸太にして運ぶ短幹集材と、枝を払っただけの長い状態で運ぶ全幹集材に分けられます。後者では、林道沿いに設けられた土場で丸太に玉切りされます。

<-森とみどりのQ&A詳細情報->

<http://www.fri.hro.or.jp/q&a/search.asp>

■今日の達人のささやき . . . 企画調整部長 中田圭亮

今年4月の新年度に地方独立行政法人「北海道立総合研究機構」が誕生しました。これまでの22の道立試験研究機関が領域ごとの6つの研究本部に統合されました。森林研究本部には、林産試験場と共に、林業試験場が属しています。

道民の豊かな暮らしづくりや自然環境の保全に貢献するため、研究や技術支援などを通じて、林業試験場は森林・林業・みどりづくりに向けてさらに励みます。どうぞよろしくお願い致します。

////////////////////////////////////

■発行・編集

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 森林研究本部林業試験場
〒079-0198 北海道美唄市光珠内町東山

■問い合わせ

企画調整部普及グループ
電子メール forestry@hro.or.jp

■記事の取り扱い

林業試験場メールマガジンに掲載された記事を転載することはご遠慮ください。

////////////////////////////////////